



議会基本条例を学ぶ(10月18日 議会改革調査特別委員会研修会)



しもつけ Shimotsuke-City 市議会だより

第3回定例会

平成22年度決算を認定	P 2
財政健全化判断比率及び資金不足比率報告	P 5
平成23年度補正予算を可決	P 6
常任委員会審査報告	P 8
市政をただす 一般質問	P10

議会改革調査特別委員会

本会議で行政視察の報告を確認	P15
----------------	-----

NO.22

平成23年11月15日発行

発行：栃木県下野市議会

編集：議会広報特別委員会

ホームページ：<http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

E-mail: gikai@city.shimotsuke.lg.jp

平成23年 第3回

下野市議会定例会

9月7日～30日(24日間)

平成22年度決算を認定

平成23年第3回定例会は、9月7日から30日までの24日間の会期で開催されました。

市長提案により人事案件7件、専決処分の承認1件、平成22年度決算認定12件、平成23年度補正予算案11件、条例改正案3件、及びその他の議案1件が提出され、すべて全会一致で可決されました。

また、平成22年度継続費精算報告等の報告案件が8件ありました。

なお、一般質問では8人の議員がそれぞれ市の対応や考えを問いました。



平成22年度各会計決算は全会一致で認定された

平成22年度一般会計ほか11会計歳入歳出決算は、9月8日に行われた本会議にて、会計管理者を初めとした執行部から内容説明が行

われた後、代表監査委員から決算審査の報告がありました。

また、13日に行われた本会議において総括質疑を行い、各議員か

ら質疑を行った後、各常任委員会に付託され、各常任委員会で細部まで慎重に審査されました。

そして、最終日の30

日には、各常任委員会委員長から審査結果報告がなされ、表決の結果、すべての会計が全会一致で認定となりました。

■平成22年度各会計歳入歳出決算

(単位:千円)

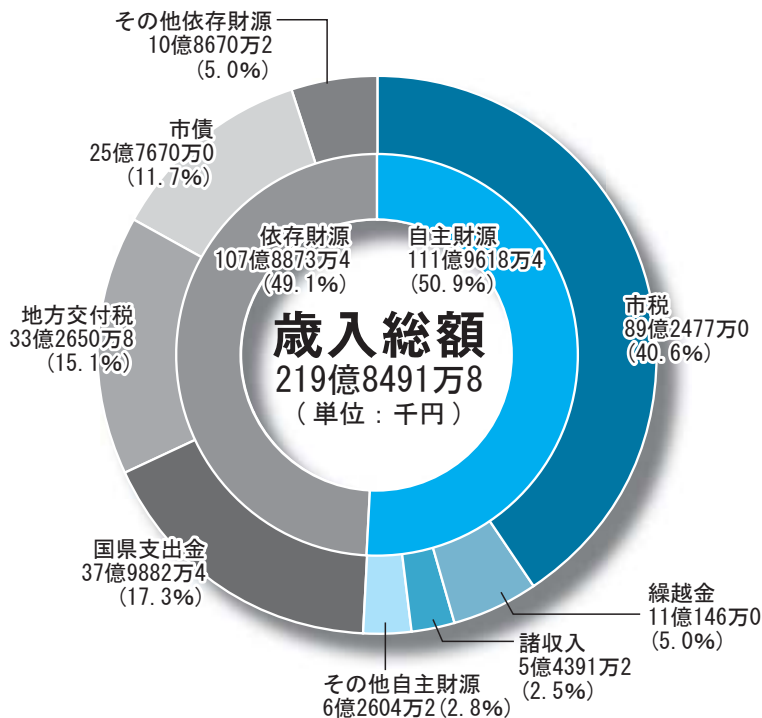
会計名	歳入	歳出
一般会計	219億8491万8	207億8515万4
特別会計	114億9323万7	108億2020万8
国民健康保険	55億8314万0	52億2331万5
後期高齢者医療	3億9323万6	3億8615万5
老人保健	1474万2	905万7
介護保険(保険事業勘定)	27億3062万7	26億4849万1
介護保険(介護サービス事業勘定)	443万3	194万9
公共下水道事業	17億4962万1	16億8085万3
農業集落排水事業	4億2654万1	4億1112万8
下古山土地区画整理事業	7316万3	7094万0
石橋駅周辺土地区画整理事業	3990万8	3873万6
仁良川地区土地区画整理事業	4億7782万6	3億4958万4
企業会計	9億1430万1	11億1208万7
水道事業	8億5306万6	6億7463万9
	資本的収支	6123万5
	収益的収支	4億3744万8

※千円未満四捨五入
 ※水道事業会計の資本的収支で不足する額は、損益勘定留保資金等から補てんしました。

平成22年度

グラフで見る 一般会計決算

歳入



歳入の根幹となる市税は89億2477万円を徴収しましたが、前年度より1億9645万円の大減額となりました。長引く景気低迷のあおりを受け、個人市民税が大幅に落ち込み、法人税は持ち直したものの、市税全体では前年度を下回りました。市税は歳入全体の40・6%を占め、繰越金等を合わせると、自主財源は50・9%となり、かろうじて半分以上は自前で確保できました。

雇用情勢等も依然として厳しく、東日本大震災により国の方針も不透明さが増す中、歳入の確保には予断を許しません。

行政用語解説

■自主財源

市税や市の施設の使用料など市が独自で調達するお金。

■依存財源

地方交付税や国県支出金など国や県から市に入ってくるお金。

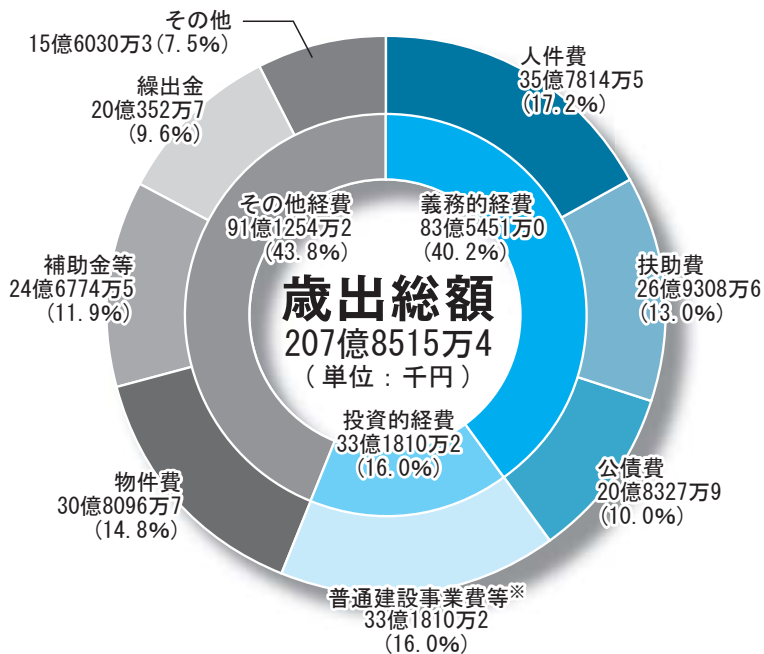
■義務的経費

人件費など支出することが制度的に義務付けられている経費。

■投資的経費

建物や道路の整備などの経費で、その支出の効果が長期にわたって持続するもの。

歳出



歳出は道の駅の建設や地域活性化臨時交付金事業等により、決算額は207億8515万4千円(前年度比2・6%増)となりました。

人件費は35億7814万5千円(歳出総額の17・2%)で、議員定数減や職員給の減により、前年度より1588万1千円の減(前年度比0・4%減)となりました。

扶助費は26億9308万6千円(歳出総額の12・9%)で、子ども手当等により、前年度より9億509万3千円増(前年度比50・6%増)となりました。

公債費は20億8327万9千円(歳出総額の10・0%)で、前年度より2億9092万8千円減(前年度比12・3%減)となりました。

普通建設事業費は33億1810万2千円で、道の駅建設や小学校改修で前年度より3億1412万5千円増(前年度比10・5%増)となりました。

総括質疑

平成22年度決算審査において、本会議で交わされた質疑内容を抜粋してお知らせします。

本市の状況は現在でも、新規事業、継続事業をバランスよく展開しているが、改めて検証し、総合計画の後期計画で精査していく。

問 市税収入が年々減少している要因は何か。

答 市税のうち約44%が市民税、約50%が固定資産税である。リーマンショック以降企業の業績悪化が続いており、採用を控えていること、また、団塊の世代の退職などにより納税者が減っていることが、市民税が減少している要因と考える。固定資産税については、地価公示価格が下がると予測しており、今後減少すると考えている。

答 現在の景気の状態などから納付が困難となり未収が増加していると考えている。未収を減らすため、コンビニ収納を開始し、また、特別徴収班による徴収を行っている。市で差し押さえた物件はオークションへ出品し換価している。ほか、預金、生命保険の解約給与などの税務調査を行い、今後ともさらに徴収努力をする。

問 市のイベントは、現在も旧3町に分かれて開催しているが、合併6年目を迎える市の一体感を醸成するため、統合する考えはないか。

答 お祭りのような地域のイベントは、地域ごとの性質が異なるため、協議の場を設けなければならない。市の主催するイベントについては、統合できるものとはできないものを見極め検討する。

問 市民税、固定資産税については、収入未済額と不能欠損額を合わせると大きな額になる。未収についてどう考えているのか。

答 本市のしつかりとした施策が評価され、交付税措置され予算に反映できたものと考えている。監査委員からの指摘の外部委託については、職員でできるものは部局間などの連携を取り実施したい。また、補助金の見直しについては、補助団体を精査し見直しを行う。

代表監査委員 決算審査意見



決算審査報告をする
瀧沢代表監査委員

早急に市有地の利用計画を明らかに

一般会計及び特別会計

歳入

市税収入は全体で前年度よりも減収となった。市全体の徴収率は、県内全市と比較すると高い水準であるが、さらなる徴収努力を望む。また、収入未済額については、事業内容について市民の理解を得、未収金額の減少に努力されたい。

水道事業会計

として、また、市の観光資源として活用されたい。

⑥ 合併算定替終了時期を見据えた財政運営執行のため、経常経費をいかに削減するかが重要である。全庁的に取り組むことを期待する。

⑦ 職員の公金不適正管理という事件が発生した。これは、内部チェック体制の不備によるものなので、公金管理について再度チェックするとともに、再発防止を徹底されたい。

歳出

① 各種業務委託等の契約について、委託の意義や成果を明確にする。とともに外部チェック機能を活用するなど、機能充実を図られたい。

② 市補助金について、事業内容や経理内容をよく把握し、根拠や算定基礎について十分確認されたい。また、補助金全体の見直しをされたい。

③ 庁舎建設について、現庁舎の今後のあり方や行政機能の再配置について全体像を速やかに検討し公表されたい。

④ 計画的に取得した用地の事業推進について検討されたい。特に(仮称)薬師寺センター用地や三王山市有地について、早急に利用計画を明らかにされたい。

⑤ 国分寺跡・薬師寺跡は児童生徒の学習の場

東日本大震災において水道水の停止がなかったことは大いに評価できるが、東日本大震災による水道水の放射能汚染が引き続き不安な状況下にある。本市の水道水については、定期的な検査によって安全性が証明されていることなどを、広く市民に広報いただきたい。

■財政健全化判断比率及び資金不足比率の状況

項 目		22年度	21年度	20年度	早期健全化基準 または 経営健全化基準
健全化判断比率	実質赤字比率	—	—	—	12.9%
	連結実質赤字比率	—	—	—	17.9%
	実質公債費比率	10.1%	12.1%	13.9%	25.0%
	将来負担比率	—	9.3%	28.5%	350.0%
資金不足比率	水道事業	—	—	—	20.0%
	公共下水道事業	—	—	—	20.0%
	農業集落排水事業	—	—	—	20.0%
	下古山土地区画整理事業	—	—	—	20.0%
	石橋駅周辺土地区画整理事業	—	—	—	20.0%
	仁良川地区土地区画整理事業	—	—	—	20.0%

※赤字を生じていない等の理由により「該当なし」の場合は「—」表記

実質公債費比率…市の借金の返済金が税などの一般財源に占める割合。低いほうが望ましい。

将来負担比率…将来負担の大きさを示す指標。低いほうがよい。

平成22年度各会計決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率が、監査委員の意見を付して報告されました。報告によると、健全化判断比率のすべての数字が基準を下回っています。中でも、基金への積み立て等の影響により、将来負担比率はマイナスとなり、実質公債費比率についても昨年度より良好な指数となっております。また、資金不足比率についても、資金不足は生じておりませんでした。したがって、市の財政は健全化に向かっていくと言えますが、今後も財政健全化に向けての努力が不可欠です。

将来負担比率はマイナスに

財政健全化判断比率及び資金不足比率報告



平成22年度市出資法人経営状況報告

本市が出資している次の3法人の平成22年度経営状況について、地方自治法の規定による報告がありました。

■財団法人

下野市農業公社

■株式会社

道の駅しもつけ

■財団法人

グリムの里いしばし



大盛況の道の駅しもつけ

平成22年度下野市継続費精算報告書

一般会計の継続費として計上していた4事業が平成22年度をもって完了したため、地方自治法施行令の規定による報告を受けました。

専決処分の報告(損害賠償額の決定)

地方自治法の規定により、道路破損または事故による車両等の損害賠償について、専決処分したことの報告を受けました。賠償金額は2件合わせて19万1497円でした。

平成23年度下野市教育委員会点検評価報告

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、平成22年度における下野市教育委員会点検評価の報告がありました。

第3回定例会 会期日程

9月	7日	本会議(開会) (議案の説明、一部表決)
8日	本会議 (議案の説明)	
9日	本会議 (一般質問)	
12日	本会議 (一般質問)	
13日	本会議 (議案の質疑、委員会付託)	
14日	教育福祉 常任委員会 (付託議案審査)	
20日	経済建設 常任委員会 (付託議案審査)	
22日	総務 常任委員会 (付託議案審査)	
30日	本会議(閉会) (委員長報告、表決)	

平成23年度補正予算を可決

繰越金等の額の確定に伴う歳出調整を計上

平成23年度一般会計補正予算案（第4号及び第5号）、9特別会計補正予算案、及び水道事業会計補正予算案が提出され、左のとおり

7月8日付けで専決処分（第4号）については、

分したものを承認し

ました。専決処分の理由は、11月6日に予定されている全国スポーツレクリエーション祭キンボール大会の会場となつている南河内体育センターを早期改修する必要があり、緊急のため臨時議会を召集

できなかったことによるものです。一般会計補正予算（第5号）については、歳入において普通交付税の増額、平成22年度決算に伴う繰越金等の確定、各特別会計の精算による繰入金の補正が計上され、歳出においては、各基金積み立て、社会資本整備総合交付金対象市道整備事業、戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業、仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金等が計上されました。

■平成23年度各会計補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計(第4号)	1070万0	203億4834万0	
一般会計(第5号)	7億7992万6	211億2826万6	
特別会計	国民健康保険	5982万4	53億9780万0
	後期高齢者医療	708万0	3億9642万6
	介護保険(介護サービス事業勘定)	3487万5	27億8927万5
	介護保険(保険事業勘定)	137万3	472万8
	公共下水道事業	5351万7	17億991万6
	農業集落排水事業	1186万4	4億6148万7
	下古山土地区画整理事業	162万3	4756万1
	石橋駅周辺土地区画整理事業	224万2	3175万6
仁良川地区土地区画整理事業	6247万2	5億4893万0	
企業会計	水道事業	資本的収入 600万0	8300万0
		資本的支出 2100万0	5億163万1

■一般会計補正予算の主な支出

(単位：千円)

事業名	予算額
南河内体育センター修繕工事	1070万0
財政調整基金積立金	4700万0
減債基金積立金	2億0000万0
庁舎等整備基金積立金	3億0000万0
児童扶養手当事業	1470万8
がん対策事業	1625万6
予防接種事業	1397万6
地籍調査事業	1030万0
戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業	2647万4
下野市ガイドブック作成委託料	1777万0
社会資本整備総合交付金対象市道整備事業(石2-22号線整備事業)	3700万0
仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰出金	2898万0
非常備消防事務費	1217万1

9特別会計補正予算については、平成22年度決算に伴う繰越金等の額の確定に伴う歳出調整の予算計上となりました。水道事業補正予算については、配水管布設後の路面復旧工事費が計上されました。



政治倫理審査会委員 6人を選任

6人の委員が平成23年10月24日をもって任期満了となるため、右の6人の委員の選任に同意しました。なお、委員の任期は、委嘱の日から2年間となります。(全会一致)

■人権擁護委員候補者の推薦

委員1人が平成23年12月31日をもって任期満了となるため、新たに右の1人を人権擁護委員の候補者として推薦しました。(全会一致)

■下野市政治倫理審査会委員の選任

氏名	住所	新・再
いちむらみつあき 市村充章	埼玉県上尾市大字瓦葺	再任
たなかみきこ 田中民樹子	小山市駅東通り3丁目	再任
おおくほよしお 大久保芳雄	下野市駅東一丁目	再任
すずきいさむ 鈴木勇	下野市駅東六丁目	再任
えんどうたかお 遠藤孝夫	下野市石橋	再任
まつもとみつはる 松本光晴	下野市緑三丁目	新任

■人権擁護委員候補者の推薦

氏名	住所	新・再
すわまもる 諏訪守	下野市柴	新任

■学童保育室及び地域活動支援センターの位置の変更

名 称	位 置
祇園小学童保育室	廃止 (南河内児童館学童保育室に統合)
石橋北小学童保育室	上古山1922番地 (石橋北小学校敷地内)
下野市地域活動支援センターなのはな	緑三丁目5番地1 (下野市生涯学習情報センター内)

改正
下野市地域活動支援センター条例の一部

南河内児童館に併設している下野市地域活動支援センターなどは、隣接している下野市生涯学習情報センター内へ移転します。
(全会一致)



下野市学童保育室
条例の一部改正



新築した石橋北小学童保育室

小学4年生から6年生までを対象としていた祇園小学童保育室の児童数減少に伴い、1年生から3年生までを対象とした南河内児童館学童保育室に統合するため、祇園小学童保育室を廃止します。また、石橋北小学校の敷地内に石橋北小学童保育室を新たに建築したので、石橋北小学校校舎内から移転します。
(全会一致)

下野市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、

死亡した者の死亡当時において生計を同じくしていた兄弟姉妹を加えました。(全会一致)

土地の購入について

県営経営体育成基盤整備事業江川・五千石地区公園用地として土地を取得することについて、議会の議決すべき契約及び財産の取得のため、次のとおり議決しました。
(全会一致)

■土地の取得契約

取得財産	土地(創設換地)
所在地	県営経営体育成基盤整備事業江川・五千石地区地内(吉田西小学校の約300メートル西側)
所得面積	1万9523平方メートル
取得価格	5856万9千円
契約の相手方	下野市田中681番地1 南河内土地改良区 理事長 黒川英代

皆様のご要望を市議会にお知らせください

市議会に要望はありませんか。市民の皆様のご要望等について、市議会へ要望書を提出して議会で話し合ってもらう制度があります。

紹介議員があるものを**請願**といい、紹介議員がないものを**陳情**といいます。

請願・陳情の提出のしかた

- ①必ず書面で作成してください。
- ②提出年月日を記載してください。
- ③請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し、押印してください。
- ④請願の場合は、1人以上の紹介議員の氏名を本人直筆で記載し、押印してください。(陳情の場合は不要)
- ⑤題名を記載してください。(紹介議員がいる場合は請願、いない場合は陳情としてください)
- ⑥請願(陳情)の要旨及び理由を明記してください。内容は簡潔に、わかりやすく記載してください。
- ⑦資料等(グラフ・表・地図・図面等)があれば添付してください。

請願・陳情は文書にて定例会開会日の14日前までに直接議会事務局までご提出ください。

ただし、郵送での提出は不可とします。



委員会における審査のようす

例

平成 年 月 日
下野市議会議長あて
請願(陳情)者 _____
住所 _____
氏名 _____ ㊟
紹介議員氏名 _____ ㊟

〇〇〇に関する請願(または陳情)

(要旨及び理由) _____



経済建設常任委員会



教育福祉常任委員会

常任委員会 審査報告

各常任委員会の審査状況を報告します

経済建設 仁良川区画整理において調整池設置の方針が変わった理由を伺う



南河内庁舎南側に設置された第一工区の調整池

問 仁良川土地
区画整理の
調整池について、
第一工区では区画
整理地内でなけれ
ば許可にならない
とのことですが、区
画整理地内に設置さ
れた。第二工区では
議会への説明がな
いまま区画整理地
外に設置するとい
うことだが、方針
が変わった理由を

伺う。

答 第二工区の調整
池と江川五千石
地区に新たに設置する
親水公園の位置が近く
事業費を抑えたいと考
え、昨年度から県と協
議をしていた。県は区
画整理地内に設置が原
則だが、場所が近いと
のことと同意をいただ
いた。事業の変更経緯
を議会に説明すべきだ
つたと反省している。

教育福祉 昨今の社会情勢を考察すれば、社会教育の充実が不可欠

問 石橋中学校区を
モデルとして学
校支援地域本部事業に
取り組んでいるが、具
体的な内容を伺う。

答 学校教育が社会
教育か割り切れ
ない部分があるので、
今後連携しながら、児
童生徒の健全育成に取
り組んでいく。

答 地域ボランティア
アによる学習支
援、部活動支援、登下
校の安全確保、環境整
備に取り組んでいる。

問 学校教育だけで
なく社会教育の

備に取り組んでいる。

○委員会の意見

児童、生徒の健全育
成を図るため、地域全

体で学校教育を支援す
るために学校と地域と
の連携体制の構築を図
ることを目的に「学校
支援地域本部事業」が
推進されているが、昨
今の社会情勢等を考慮
すれば、学校教育に限
らず、社会教育または
生涯学習の充実も必要
不可欠と考える。



総務常任委員会

総務
わがまち自慢推進事業交付金の内訳について伺う

問 わがまち自慢推進事業交付金の内訳について伺う。
答 本市の魅力を活かすために発信する

ため、道の駅の商品開発、案内板の作成及び文化財ボランティアの支援を実施している。

経済建設
石橋地区の石綿管工事期間はどれくらいか

問 公共下水道事業における石橋地区の石綿管の工事は、どのくらいの期間で完了するのか。

答 旧石橋町の市街地以外で約9.6kmが残っている。平成27年度中に完了させたい。

総務
JAうつのみや薬師寺支所跡地利用について



更地になっている JA うつのみや薬師寺支所跡地

問 監査委員からJA薬師寺跡地利用計画を出すようにとあり、補正予算で調査費を計上して何について調査するのか。

答 現地はある程度把握しているのですが、どのようなものがつくれるか、その概算経費の算出を行い、構想をつくるための委託を行う。

福祉教育
安否確認システム貸与事業の利用状況と具体的な成果は

問 おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や身体的弱者を対象に安否確認システムを貸与しているが、利用状況と成果を伺う。
答 一人暮らし高齢者は約3千人で、うち利用者は94人である。利用者はセンサーを持っており、体調が

悪くなった場合にセンサーのボタンを押すと、委託業者から消防署に連絡が入り、消防署員が駆けつける仕組みになっている。このシステムのおかげで一命をとりとめた事例は年々10件ほどあり、今のところ100%の救命率である。

議会の動き

- 8月**
9日 埼玉県入間市議会視察来庁
(水道料金の基本水量廃止について)
小山広域保健衛生組合議会全員協議会
小山広域保健衛生組合議会臨時会
12日 議会改革調査特別委員会
県南6市議会議長会議員研修会(足利市)
県南6市議会議長会議(足利市)
31日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 9月**
7~30日 第3回定例会
2日 小山広域保健衛生組合議会会議
30日 議員全員協議会
議会広報特別委員会
- 10月**
11日 議会広報特別委員会
12日 千葉県富里市議会視察来庁
(保健センターとゆうゆう館について)
12・13日 全国市議会議長会研究フォーラム
(青森県青森市)
17日 県南公設地方卸売市場事務組合議会
18日 議会改革調査特別委員会研修会
(議会基本条例について)
21日 議会広報特別委員会
24日 関東市議会議長会第1回理事会
28日 小山広域保健衛生組合議会定例会
小山広域保健衛生組合議員説明会
31日 栃木県市議会議長会議(真岡市)
栃木県市議会議長会議員研修会(真岡市)
議会広報特別委員会



高橋 芳市 議員

1. 県道小山・下野線の市の対応について

旭ヶ丘交差点から小山市までの新設道路が計画されているが、地主の協力

整備を見込んでいたが、事業の熟度が達せず中止となった。県に対し、道

関係者に理解が得られるよう努力する。

い、歩道のない小金井駅東の市道も危険になる。

は。

山地区の整備が進めば交通量が増加し、さらに危険な状況になる。市としても県と歩調を合わせ、

問

現在の県道小山・下野線（339号

答

県と歩調を合わせ関係者の理解を得るよう努力する

問

県道小山・下野線の市の対応について

が得られないためか、県は説明会を打ち切り、予算も計上していない。交通量が増える県道、住宅地を迂回路する歩道のない駅東一丁目の安全対策

路事業として整備を要望し平成19年に一部調査に着手したが、関係者の理解と協力が得られず、事業化に至っていない。小山地区の整備が進めば交通量が増加し、さらに危険な状況になる。市として



歩道が設置されていない県道小山・下野線(柴地内)

市政をたたす

一般質問

第3回定例会では、8人の議員が市政に対し、一般質問を行いました。質問と答弁の内容を要約してお知らせします。紙面の都合により、内容の掲載は1人につき1件とし、ほかの質問事項は項目のみ掲載しております。詳しい内容が知りたい方は、会議録をご覧ください。

市議会本会議の会議録が検索できます

①ホームページで閲覧(市ホームページからも入れます) 会議録検索システム

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/shimotsuke/shimotsuke.html>

②市内3図書館で冊子を閲覧

・南河内図書館 ・石橋図書館 ・国分寺図書館



磯辺香代 議員

1. 地域防災計画の改定と放射線量測定について

問 市では放射能の空間線量を測定・公表しているが、子どもの生活環境を網羅しているとは言えず、保護者や妊婦、孫をあずかる世代の漠とした不安にこたえ切れていない。何らかの対応ができないか。

答 市長 3庁舎、5保育園、小・中学校で計測し、公表している。

問 市では放射能の空間線量を測定・公表しているが、子どもの生活環境を網羅しているとは言えず、保護者や妊婦、孫をあずかる世代の漠とした不安にこたえ切れていない。何らかの対応ができないか。

答 市長 3庁舎、5保育園、小・中学校で計測し、公表している。



市内3カ所に点在する市立図書館

塚原良子 議員

1. 旧3町で運営の類似施設の統廃合
2. デマンドバス等市民への交通サービスについて
3. “一般廃棄物処理基本計画等策定業務”委託からみた基本計画等の委託のあり方について
4. リサイクルセンター建設用地買収の進捗状況は



問 「行財政改革」類似施設の統廃合を

答 サービスの向上と経費の削減を図る

問 旧3町から運営の3図書館、23年度

予算は約1億4千万円。運営方式の見直しを。

答 市長 民間委託や指定管理者制度の

導入を検討し、サービスの向上と経費の削減を図る。また、「図書館協議会」に「図書館の管理運営のあり方」を諮問し、協議を進め見直しを行いたい。

問 旧3町から運営の入浴施設人口6万人にお風呂3つは必要か。

答 市長 一概に費用対効果、行財政改革の視点のみで論じるべきではない。長年地域において果たしてきた貢献を検証し、各施設の得意とする機能を特化することが重要。今定例会に調

査研究費として補正予算を計上した。①ふれあい館はプールで道の駅と連携を図る。②きらら館はトレーニング機器の活用で市民健康づくり。③ゆうゆう館は温浴施設の充実で市民の憩いの場として、それぞれ特性を生かした施設として有効利用が図れるよう結論を出す。

問 放射能、要望場所を測定できないか

答 定点以外でも測定を行っていく

る。また、公園98カ所においても測定を行った。数値は低いですが、低線量被曝の不安にこたえる意味では、定点以外でも測定を行ってまいりたい。

問 地面付近や雨どい等をはかりたい場合は、自分で線量計を買って調べよということか。

答 市民生活部長 線量計については、取り扱いが難しい部分があるので、貸し出しは今のところ考えていないが、各庁舎での測定は午後2時なので、希望があれば、空いている午前中に貸し出すなども考えられる。



公園内いたるところでの放射線量測定が望まれる



高山利夫議員

1. 宇都宮市へのアクセス道路の整備を急げ
2. 犬・猫の去勢・避妊手術の助成金を



南河内第二中学校体育館で行われた小中学校音楽祭

野田善一議員

1. 都市機能の充実に向けて
2. 街路樹や都市公園の緑の保全について



問 宇都宮市へのアクセス道路の整備を急げ

答 平成24年度から用地買収に着手したい

問 県道安塚・雀宮線と、県道鹿沼・石橋線を結ぶ市道石1001号線の整備進捗状況を伺う。

答 市長 本年度当初予算において境界確認・現況測量などの委託費800万円を計上しました。整備区間は約600メートルであり、県営針ヶ谷地区土地改良事業

の進捗に合わせて当該路線の整備を進める。

問 市道石1008号線は宇都宮市針ヶ

谷地区と下野市上古山地区を結ぶ狭隘な道路であるが整備進捗状況を伺う。
答 市長 昨年度に地元懇談会と境界確認・現況測量を行い、針ヶ谷地区の幅員6メートルに合わせて整備すること

問 都市機能の充実に向けて文化会館の建設を

答 財政的課題・事業の熟度等を勘案する

問 新市庁舎は平成27年度完成の予定だが、当市の財政力を勘案すると、二兎を追っても財政の持続可能性を損なうものではないと考える。都市機能の充実を図る意味からも、「文化会館」の建設を視座に入れる必要があると思うが。

答 市長 市民の文化活動を支援し、質

の高い芸術文化鑑賞の場として、文化会館の果たす役割は大きい。昨年9月に開催された下野市小・中学校音楽祭、本年1月の市民音楽祭には多くの市民が集まり、市民の文化への関心の高さを改めて認識した。昨年度開催された市民懇話会のなかでも文化施設の整備について議論がなされ、

多くの委員が文化会館の建設を望んでいた。文化会館の建設は、本市にとっては大変大きなプロジェクトであり、今年度に策定する総合計画後期基本計画において、事業の熟度・緊急性等を十分に議論し、方向性を見出してまいりたい。



平成27年度までに整備完了予定の市道石1008号線(上古山地区内)



大島 昌弘 議員

1. 下野市の経済対策を伺う
2. 下野市の来年度予算の方針を伺う

答 市長 畜産農家に
対する保証料につ
いては、今後、調査に入
り前向きに検討してい
たいと考えている。ビ
ニールハウス建設費の補

問 畜産農家支援に保
証料の補助を考え
ているのか。ビニールハ
ウス建設費補助対象者へ
の条件緩和について考え
ているのか。

各種支援制度の充実に向け調査研究する

問 助については、事業実施
期間の目標年次を迎える
ことから、事業の評価を
行い、平成24年度以降に
ついての本事業の継続や
内容について検討してい
る。

問 地元の雇用対策に
ついては、

答 市長 本市では、
平成23年から24年
までの2か年限定で、雇



学校における放射線量測定の様子

目黒 民雄 議員

1. 放射線量の測定状況は。また、これからの取り組みについて



小・中学校の放射線量の測定状況は

問 小・中学校の放射
線の測定状況は。

答 市長 すべての小・
中学校で週1回、
放射線量の測定を行い、
結果を市ホームページに
て公表している。この測
定は、校庭中央で午前8
時に小学校は地上50cm、
中学校は地上1mで測定
することと定めたマニユ
アルを策定した。8月29

日に開催した臨時校長会
においてこのマニュアル
に基づいた測定方法を指
示し、児童・生徒の安全
確保についてもあわせて
周知・徹底を図った。

問 子どもを被曝から
守るため教室に冷
房装置の設置を。

答 市長 学校施設の
安全・安心を基本
に何を優先させるべきか

を十分精査し、計画的に
進め、冷房装置が設置さ
れている他の学校施設の
検証を行い、発電装置と
あわせ、大規模改修事業
による省エネルギー型空
調の導入の調査・研究を
行っていく。



ビニールハウス建設費補助継続が望まれる

Dr. シモツケの

おしえて!? 議会用語

～第5回～



Dr. シモツケ

議会用語というのは難しいのう。
そんな疑問にワシがわかりやすく解説していくぞい。

Q

市議会と市執行部
との関係について、よくわからないんだけど。



A

市では市民が安心して快適に暮らしていけるようさまざまな仕事を行っているんじやが、市政には市民の意見が反映されなければならないんじや。

そこで市民が選挙で代表者を選び、市政の運営を委ねている形になっておる。この代表者には、市政を実際に執行する市長と、市政を監視し、その方針や施策の決定をする議員で構成する市議会の2つがある。このような働きから市長を**執行機関**、市議会を**議決機関**というんじやよ。



Q

じゃあ、市議会と市長、どっちの立場が上なの？ やっぱり市長なのかな。



A

市議会と市長は互いに独立した**対等な関係**にある。お互いに抑制し、均衡を保ち、ともに市民生活の向上ために活動しているんじやよ。



※1 外国語指導助手 (ALT) …小中学校などの英語の授業で日本人教師を補助する外国人
※2 チームティーチング…複数の教師が協力して教育指導にあたる方式



学級担任とチーム・ティーチングで指導するALT (緑小)



村尾光子議員

1. 学校における外国語指導助手業務委託は適正か
2. 学校給食調理業務委託方式は万全か

問 学校の外国語指導助手業務委託は適正か

答 今後、よりよい契約形態を検討する

問 業務委託の外国語指導助手(ALT)

と直接雇用の日本人英語指導助手の役割はどう異なるのか。*1 チームティーチングによる指導では、教科担当教員との連携が不可欠である。業務委託契約では、ALTと直接連携することは難しく、偽装請負になりかねない。十分な教育的効果を期待

答 して、直接雇用など別な契約形態とすべきである。

教育長 外国人ALTは中学校と小学校高学年を、また、日本人英語指導助手は教員経験のある方であり、打ち合わせがより重視される小学校の低・中学年を担当している。ALTとの連携策として、市内統一の年間指導計画と担任とALTとの役割分担を示した授業案を作成し、授業予定表と共に会社を通じてALTに送付している。また、ALTの学校活動日には担当教員との授業についての確認をしている。しかし、現行の業務委託契約は指示、命令に係る課題があり、よりよい契約形態を検討する。

本会議で行政視察の報告を確認
本会議の録画放映は新庁舎建設に合わせる



第3回委員会のようす

議会改革調査特別委員会は、議会機能のあり方、組織構成及び報酬等議会改革に関する調査研究を目的とし、議長を除く全議員で構成しています。
当委員会の審議状況について報告します。

第3回委員会
9月13日

傍聴者への一般質問通告書(コピー)は配布せず

本会議における一般質問通告書の傍聴者へのコピー配布について、前回の審議では「配布すべき」と「今のままでよい」との意見が半々であったため、再度表決を行った。表決の結果、「今のままでよい」が多数となり、今までどおり一覧表のみを配付することを確認した。

本会議の録画放映は新庁舎建設に合わせ
て提案

本会議を録画放映するためにかかる費用概略は、カメラ、マイク、モニター等を設置する

想定で、買い取りの場合には工事費を含め1450万円、リースの場合には月額約30万円、年額約360万円になると事務局から報告があった。費用が高額であるため、平成27年に完成予定の新庁舎に設置するよう、議会から提案することを確認した。

本会議で行政視察の報告を確認

これまで議会だよりのみの報告であった各委員会の行政視察報告について、報告書を委員長が作成し、本会議で委員長が報告し、また、視察前には委員会で研修内容の検討、視察後には委員会と執行部と協議をすることを確認した。

議会改革調査特別委員会研修会

議会基本条例についてを学ぶ

10月18日 市役所国分寺庁舎



講義をする廣瀬和彦先生

講師に全国市議会議長会法制参事の廣瀬和彦氏を迎え、①議会基本条例の理念、②議会基本条例制定過程、③議会基本条例制定の留意点などをテーマに研修会を行った。
議会基本条例の意義は、議会の活性化と充実のために議会運営に関する事項及び情報公開並びに住民参加を基本とすることを定めた条例であること。また、平成18年に北海道栗山町議会が全国で初めて制定し、22年には95市、全自治体では167団体で議会基本条例が制定され、現在でもふえ

ている状況である。議会基本条例を制定することは議会改革をするための一つの手段であり、目的ではない。他市における先進的な議会改革を条例に盛り込み、条例の制定を契機として議会改革に取り組むことが大事である。また条例策定の過程においては、基本条例の理論の研究及び検討課題の設定、先進地の事例研究、住民と議会との考え方がかけ離れないように、意見交換会やパブリックコメントの実施が不可欠である。また、条例制定後は、住民への広報活動と対をなす住民からの議会に対する要望を聞くための議会報告会の開催が必要とのこと。報告会の場所や回数、担当する議員の編成など十分な協議が必要であると感じた。また、議員一人一人の質の向上が何よりも重要であると強く感じる有意義な研修会だった。



議会を傍聴してみませんか？

次回、平成23年第4回定例会は、12月7日(水)の開会を予定しております。

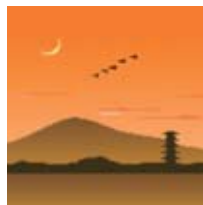
傍聴を希望される方は、本会議当日、市役所国分寺庁舎3階議会事務局前に直接お越しください。その際、備え付けの受付票に住所・氏名を記入し、受付箱に投函していただきます。

詳しい日程は決定次第、市ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp> でお知らせいたします。

第4回定例会 12月7日(水) 開会予定

ご感想は、ホームページ、メール、電話、またはFAXにて
 お願いいたします。

- ③ ご意見・感想を自由にお聞かせください。
- ・編集後記
- ・特別委員会の記事
- ・平成22年度決算を認定
- ・その他第3回定例会の記事
- ・委員会審査報告
- ・市政をただす一般質問
- ・おしえて!? 議会用語
- ・議会改革調査



- ① 紙面は見やすかったですか。
 - ・見やすい ・普通 ・見にくい
 - ② 印象に残った記事は何ですか。
- (複数回答可)

議会だよりに関するご意見・ご感想をお聞かせください



今定例会は平成22年度決算審査が中心で、提出された議案は、慎重審議の結果、すべて全会一致で可決されました。また、代表監査委員からは平成22年度の決算審査結果の報告がありました。

東日本大震災から7カ月、原発事故・集中豪雨・2度の大型台風の襲来等で日本全土が未曾有の災害を受けました。「がんばろう日



次号(第23号)は2月15日に発行します

- 議会広報特別委員会
- 委員長 小谷野晴夫
 - 副委員長 吉田 聡
 - 委員 高山 利夫
 - 塚原 良子
 - 高橋 芳市
 - 大島 昌弘

広報委員一同、これからも親しまれる議会だよりを目指し、鋭意努力してまいります。

(高山利夫)